

令和6年度

上野学園短期大学 新入生アンケート 報告書

1. はじめに

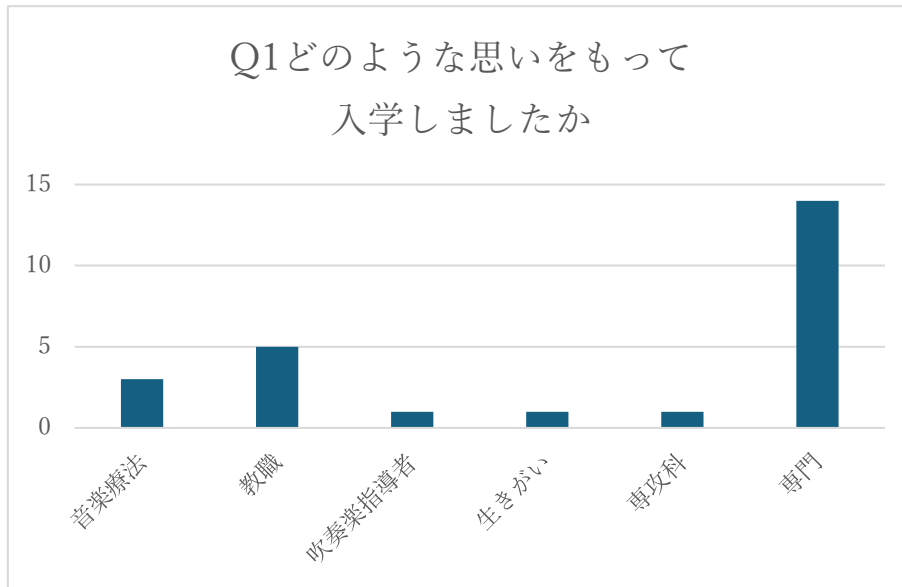
この「上野学園短期大学 新入生アンケート」は、上野学園短期大学の入学直後の新入生を対象に、入学前の動向や本学での学生生活への期待、そして卒業後の進路をどのように考えているかという基礎的データを得ることを目的に行われた調査である。

2. 基本項目

日時	令和6年4月4日
場所	新入生歓迎会終了後
対象	短期大学1年次生（新入生）
対象人数	27名（ピアノ7、器楽15、声楽5）（男6、女21）
回収数	26名（ピアノ6、器楽15、声楽5）（男5、女21）回収率96.2%
方法	学生委員による対面聞き取り

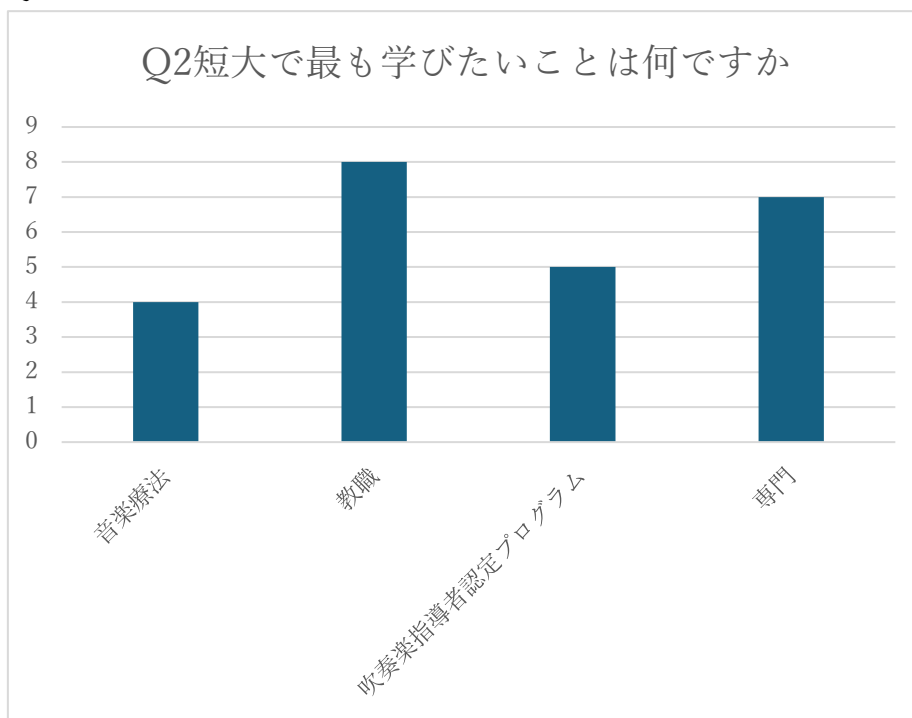
3. アンケート集計結果

Q1 大学入学時の思い



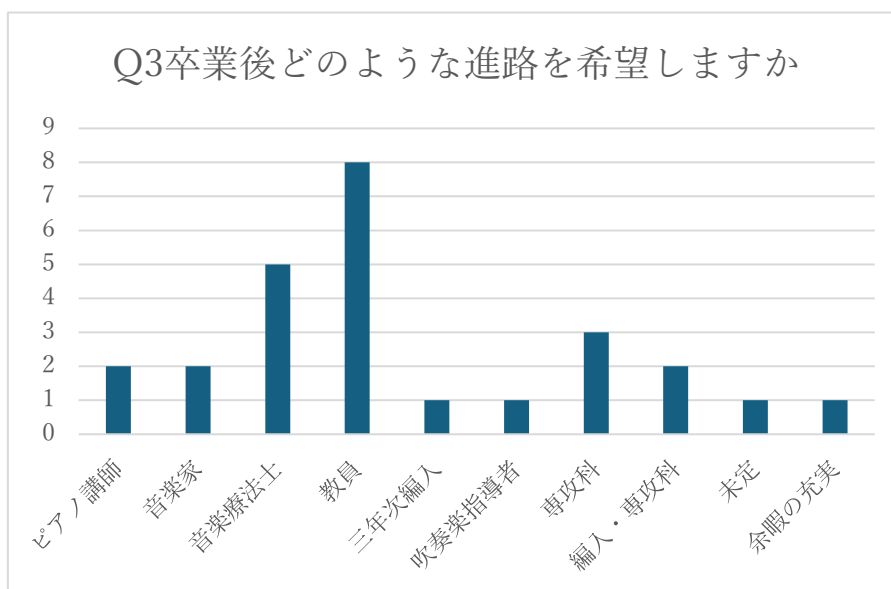
音楽の専門教育を受けたいという回答が半数であり、教職、音楽療法という資格取得の回答も4割弱見られる。

Q2 大学で学びたい内容



従前の資格を取得したいという回答に加え、吹奏楽指導者認定を取得したいと考えた学生が管打楽器に多くみられたのが本年度の特徴である。

Q3 卒業後の進路に関する意識



専攻科 3名、編入と専攻科で迷っている回答が 1名である。今後、専攻科進学が増える可能性もあり得る。また本年度は教職、音楽療法士へのキャリア志向が高いのが本年度の特徴である。

4. まとめ

以上により、短大のメリット、音楽を専門的に学びながら資格を取得でき、自由度の高い進路選択が可能という点が認知され、また部活動の地域移行に適応した吹奏楽指導者認定プログラムの周知についても一定の効果があったと評価できる。

令和6年9月1日

IR委員会